令和7年度 第1回 松江市生活環境保全審議会 会議録

1 日時 令和7年7月31日(木) 15:00 ~ 16:00

2 場所 松江市役所3階 第2 常任委員会室

3 出席者

(1)委員 8名

安野委員、桑原委員、佐藤委員、永江委員、矢田委員、松本委員、森山委員、山口委員

欠席者 2名

岩田委員、坂本委員

(2)事務局 6名

上定市長、余村環境エネルギー一部長、古藤環境エネルギー一部次長、成瀬総括主幹、
福間副主任行政専門員、岡崎主任主事

4 次第

(1) 開会

(2) 市長あいさつ

(3) 会長・副会長 互選

(4) 諮問

「(仮称)松江市環境基本計画」の策定について

(5) 議事

① (仮称)松江市環境基本計画の策定(概要) ……資料1

② (仮称)松江市環境基本計画策定スケジュール ……資料2

(6)閉会

5 会議経過 別記のとおり

6 事務局 松江市環境エネルギー一部環境エネルギー課

(1) 開会

○成瀬総括主幹

ただいまより、令和7年度第1回松江市生活環境保全審議会を開催します。

本日、議事に入るまでの進行役を務めさせていただきます環境エネルギー課の成瀬でございます。よろしくお願いいたします。

この委員会は、松江市情報公開条例及び審議会等の公開に関する要綱の規定により、すべて公開にて行います。また、会議録を作成するために録音機を使用させていただきますことをご承知おきください。なお、議事整理及び録音の都合上、ご発言の際は挙手をいただき、マイクを使用してお発言くださいますようお願いいたします。

本日の会議は、概ね午後4時を終了予定時刻としています。円滑な進行にご協力をお願いいたします。

それでは開会にあたりまして、上定松江市長よりご挨拶を申し上げます。

(2) 市長あいさつ

○上定市長

皆さんこんにちは。松江市生活環境保全審議会の委員の委嘱を受けていただきまして誠にありがとうございます。また、本日お忙しいところ、松江市役所までお出かけいただきましてありがとうございます。松江市はこれまで環境分野における取組を重ねてきたところでございます。とりわけ、まつえ環境市民会議の佐藤会長、SDGs アドバイザーの松本先生、他市民の皆さま、事業者の皆さま、大学の皆さまと連携を図ったことで、ここ数年は全国的にみても先端的な取組を進めてきたものと自負しております。一方で、この後、松江市環境基本計画策定に関する諮問をさせていただきます。現在、色々な計画を立て取組を進めてきておりますが、重層的複層的になっている面があり、分かりにくくなっているところがございます。今までの取組を振り返り、今後何をやっていくのかを、整理する必要があると考えています。これらを仮称としておりますが、松江市環境基本計画として形にしていく予定でございます。ちなみに、令和3年3月に松江市環境基本計画を策定し、カーボンニュートラルに向けて取り組んでいくという方向性を明確にしました。令和5年3月には松江市再生可能エネルギービジョンを策定しました。これは、再生可能エネルギーに特化した内容となっております。また、令和6年3月には地球温暖化対策実行計画を策定しました。令和5年4月には環境省から脱炭素先行地域の認定を受け、5月には内閣府からSDGs 未来都市の認定を受けました。こういったことも踏まえ、環境政策の取組を進めてきた状況を振り返りながら、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて何をすべきなのかを考える必要があります。例えば、水素エネルギーの活用など新たな取組について、(仮称)松江市環境基本計画の中に盛り込み、取組を実行していくプロセスが必要になると認識しております。皆さまには、後ほど諮問をさせていただきますが、松江市生活環境保全審議会に関してご審議いただきまして、松江市らしい環境施策についてのご意見をいただければと思います。

○成瀬総括主幹

続きまして、委員の皆様にご挨拶をさせていただきます。

当審議会の委員委嘱につきましては、本年2月1日の改選より2年間の任期となっております。委員の皆様におかれましては、松江市の環境施策の推進にあたり、それぞれのご専門・ご見識から、多方面よりご意見、ご審議くださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。なお、交付につきましては、本来ならばお一人ずつ手交させていただくところではございますが、会議時間短縮の観点から、それぞれの席上への配布に代えさせていただきますので、ご了承ください。また、お手元にお配りしております委員名簿により、皆様のご紹介に代えさせていただきます。大変略式により恐縮ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

ここで会議の成立についてご報告いたします。当審議会の会議開催につきましては、松江市の生活環境の保全に関する条例第27条により委員の半数以上の出席が求められています。本日は、委員10名中、8名がご出席ですので、会議の開催について成立いたしますことをご報告申し上げます。

(3) 会長・副会長 互選

○成瀬総括主幹

続きまして、会長及び副会長の選出でございます。会長・副会長につきましては、松江市の生活環境の保全に関する条例第25条により、委員の互選によるものと規定されております。皆さまよりご提案はございますでしょうか。

<委員からの意見なし>

○成瀬総括主幹

そうしますと、事務局より案がございますので、ご審議のほどお願いいたします。

○余村環境エネルギー一部長

皆さんこんにちは。環境エネルギー部の余村です。私の方から、事務局案を申し上げます。会長に松本一郎委員、副会長に佐藤尚士委員の案でございます。

○成瀬総括主幹

事務局案についてご意見ございませんでしょうか。

よろしければ、拍手にてご確認をお願いいたします。

<一同、拍手>

ありがとうございます。それでは、会長に松本一郎委員を、副会長に佐藤尚士委員を選出いただきました。どうぞよろしく願いいたします。

(4) 諮問

○成瀬総括主幹

続きまして、上定市長より当審議会あてに諮問でございます。上定市長、松本会長、前へお願いいたします。

<上定市長より諮問文読み上げ後、諮問文を審議会会長に手交>

○成瀬総括主幹

ありがとうございました。自席へお戻りください。

なお、市長におきましては、この後別の公務がありますので、ここで退席させていただきます。会場の準備を行いますので、委員の皆さまはしばらくお待ちください。

<市長退席>

(5) 議事

○成瀬総括主幹

それでは再開いたします。

先ほど、諮問がございましたので早速審議に入りたいと思います。議事の進行につきましては、松本会長にお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○松本会長

松本です。どうぞよろしく願いします。議事に先立ちまして、会長就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

私は、先ほど上定市長からもありました、松江市環境基本計画、松江市地球温暖化対策実行計画の策定などにつきまして、上定市長が就任される前から携わってきたこともあり、非常に思いが強い内容、分野でございます。また、本審議会の佐藤副会長はまつえ環境市民会議の会長として様々な取組をされています。今の松江市の環境は、市民、事業者、行政一体となって築かれてきたものです。前市長の時代から松江市は環境に関して注目を集める都市だと思います。そういった流れの中で近年大きな変化がありました。役所の方が来ておられる T シャツに脱炭素と書かれていますが、令和 5 年 4 月に脱炭素先行地域に認定され、翌月には SDGs 未来都市に認定されました。私もこれらに携わってきたことから SDGs アドバイザーを拝命しております。先ほど、

市長から諮問をいただきましたが、松江市がどういった舵をきって日本のトップランナーとなっていくのかは、市民、事業者、大学、学生などそれぞれの立場や視点からの意見が大切になると思いますので、みなさんで力を合わせて進めていきたいと思っています。今日も暑く40℃近い気温になっていますね。こういったことも踏まえて松江市から全国または世界に発信するようなことが必要だと思っています。今年、フィンランドとドイツにSDGsの関係で視察に行きますが、そういった情報もこの場で皆さんにご提供できればと思っていますのでよろしくお願いします。

議事に入る前に、委員の皆さま1人ずつ所属、氏名、抱負などを1分程度でご発言いただければと思います。すみませんが桑原委員から順番にお願いします。

○桑原委員

宍道湖漁協で参事をしております桑原と申します。宍道湖の漁業者は、自然から日々の生産の糧をいただいており、自然物や自然環境といった視点からこの審議会の一員とさせていただいているのかなと思っています。松江の自然が良い状態で保たれることを第一に考えていきたいと思っています。よろしくお願いします。

○森山委員

今回、初めて参加させていただきます、松江NPOネットワークで副代表をしています森山と申します。よろしくお願いします。松江NPOネットワークは、松江のNPOが集まった会でございます。私は、「NPO法人まちづくりネットワーク島根」の副理事長と「フードバンクしまね あったか元気便」の理事をさせていただいています。以前はふるさと島根定住財団で働いていましたが、4年前に退職しまして、現在はしじみ漁師もしています。今回は、NPOとしじみ漁師と一般市民と3つの視点から参加させて頂ければと思います。

○安野委員

同じく、初めて参加させていただきます、島根大学教育学部3回生の安野です。ずっと松江市に住んでいますが、これまで環境について深く考えたことはなかったので、これを機に考えていきたいと思っています。よろしくお願いします。

○永江委員

失礼します。「島根県農業協同組合くにびき地区本部女性部」の副部長をさせていただいております永江と申します。主に、島根和牛の飼育や野菜を作っており、こういった環境分野に関する話を聞くとつい敏感になります。最近は牛のメタンガスが問題になっていますが、これをエネルギーとして使えないかななどの話も出たりします。前任の副部長より、農業環境に関して重要な内容の会議ということで推薦いただきまして、今回参加させていただいています。色々勉強もさせていただきながら発言させていただきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

○矢田委員

「松江市町内会自治会連合会」で監事をしています矢田と申します。私は持田の連合会長をさせていただいています。私は、農業をしております米を作っているのですが、今年は異常な暑さと雨が降らないことで、田んぼがひび割れしてどうなるのかなと思っています。去年はカメムシ、今年は干ばつでやられており、こういったことも環境変化なのかなと思っています。どうぞ、よろしくお願いします。

○山口委員

「松江高専」から参りました山口と申します。水処理や環境保全、環境土木についても研究など行っていますので、専門分野に加えて教育現場といった視点から発言できればと思います。よろしくお願いします。

○佐藤副会長

今回、副会長を務めさせていただきます佐藤でございます。「まつえ環境市民会議」については話すとき長くなりますので、すみませんがホームページをご覧くださいと思います。私自身は、この近くの堂形にある建設会社の経営者でございます。先ほど、農業の話ができましたけれども、私も畑をしていますが、すくすく育っているのは高温に強い野菜で従来の野菜はほとんど育たなくなってきたものと自覚しています。よろしくお願いします。

○松本会長

皆さんありがとうございました。それでは、議事に入ります。円滑な議事進行にご協力いただきながら、活発なご議論をお願いいたします。

事務局より、本日の会議資料について確認をお願いします。

○成瀬総括主幹

それでは、本日の資料の確認をさせていただきます。会議はペーパーレスで行います。本日の会議資料については、後日メールにて送付し、あわせて市のホームページで公表いたします。

本日、机の上に配布しておりますのは、次第と委員名簿となります。説明資料は、正面の画面共有にて行います。以上でございます。

○松本会長

会議についてはペーパーレスにということで第2回の会議以降ではタブレットということになるということで聞いています。また、後ほど連絡があると思います。

それでは、議題1の「(仮称)松江市環境基本計画の策定について」、議題2の「(仮称)松江市環境基本計画策定スケジュール」を事務局より説明をお願いします。

○古藤環境エネルギー一部次長

環境エネルギー部の古藤でございます。私の方から、議題1の「(仮称)松江市環境基本計画の策定について」、議題2の「(仮称)松江市環境基本計画策定スケジュール」についてご説明いたします。

<議題1について、資料1を用いて以下の項目を説明>

- ・環境、エネルギーに関する動向と目標(国・松江市)
- ・(仮称)松江市環境基本計画の策定の要旨

<議題2について、資料2を用いて以下の項目を説明>

- ・計画の策定スケジュール

○松本会長

ありがとうございました。多くのことが盛り込まれていましたので私の方からポイントだけ手短かに言います。

現在の環境基本計画で示している方針、目指すものは3つあります。1つ目はスマートライフの推進、2つ目は4R推進、3つ目は自然共生ということでした。そしてこの3つを共創・協働により進めていくということでした。

そして、現在の環境分野に関する計画のうち、3つを1つにまとめるということです。1つ目は環境基本計画、2つ目は松江市再生可能エネルギービジョン、3つ目は松江市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)ということでした。これらの計画も今回のような審議会等を経て、策定されてきたものですので、先人達により松江市の環境行政のベースはできているということになります。この3つの計画を1つにして松江市の政策にあわせていくということです。そして、この3つの計画の上にある計画として松江市総合計画があります。上定市長が「MATSUE DREAMS 2030」と言われるのを聞いたことがあるかもしれませんがそれが総合計画です。私たちの使命としてはこの総合計画の下位計画となる、環境分野の計画を策定していくことになります。スケジュール的には少しタイトになるかもしれませんが、皆さんの意見をまとめながら策定していくことになります。

少し説明が長くなりましたが、どの視点からでも結構ですので、ご意見・ご質問がございましたら、ご発言をお願いします。

<意見なし>

初回ということもあり、なかなか意見が出にくいかもしれませんので私から良いでしょうか。

資料1の10ページのグラフについてです。今から12年前の平成25年度以降の温室効果ガスの排出量推移状況が載っています。このグラフ上での直近値となる令和4年度の段階で平成25年度と比較し11.2%削減できているということになります。今回は短期目標となる令和7年度

の削減目標値にどれだけ迫れるかということを検証することになると思います。

○古藤環境エネルギー部次長

すみません。資料 1 の 10 ページは、市役所の事務・事業からの排出量と削減目標になりますので、市域全体は 9 ページに記載しています。

○松本会長

失礼しました。9 ページにも市域全体の平成 25 年度以降の温室効果ガスの排出量推移状況が載っています。このグラフ上での直近値となる令和 2 年度の段階で平成 25 年度と比較し 20.6% 削減できているということで、この数字はすごいと思います。短期目標となる令和 7 年度には 34% の削減、中期目標となる令和 12 年度には 47% の削減を目指すということになり、国の目標を上回る目標設定がされています。令和 12 年度は SDGs の達成年となりますね。この目標を達成するためには私たちの議論が重要になってきます。平成 25 年度の時点では、温室効果ガスの排出量は本当に減るのかという話もありましたが、このグラフを見て排出量が減ってきている状況を見ると自信にして良いのかなと思います。ただ、令和 7 年度に 34% の削減はできるのかなと思ったりもします。グラフに令和 3 年度以降の数値が載っていないのは集計の関係ということでしたが、やはりどうなっているのか知りたい気持ちもありまして。感覚的なもので構いませんが令和 3 年度以降の排出量はどのようになっているのでしょうか。このまま順調に減り続ければ良いなという願望を元にした発言ですがいかがでしょうか。

○古藤環境エネルギー部次長

公表される統計データを元に算出するため、結果は数年遅れて出てきます。今年度は、令和 4 年度の排出量の数値がでてきたところです。取組自体は、継続して行っていますが、令和 3 年度以降の増減状況がどのようになっているのかは、現時点ではお答えしにくい状況でございます。

○松本会長

そうですね。答えにくい質問だったかもしれませんが、グラフをみると、平成 28 年度以降順調に減少していたのでその後どうなっているのか気になって聞いてみました。算出には色々な統計データを集め、複雑な計算をされることになると思います。島根県も色々なデータや数値を市町村から集め集計し、国に報告し、国全体の数値として公表します。

私も世界の状況などはお知らせしますが、松江市や他の市町村がそういったことを集計しないとうなるのかなと思ったところです。

今日の終了予定時刻は 4 時ですが、もう少し時間があります。他、ご意見等ある方はいらっやいませんか。

○山口委員

資料 1 の 10 ページのグラフについてですが、令和 2 年度時点で 20.6%の削減ができていたということでしたが、削減できている一番大きな要因は何になるのでしょうか。コロナなども影響しているのでしょうか。

○古藤環境エネルギー部次長

松江市では、太陽光発電設備をはじめ再生可能エネルギーの導入を進めているところでして、補助制度も設けています。昔に比べ住宅の屋根の上に太陽光パネルがついている住宅を目にすることが多くなったと思います。特に新築住宅では設置されるケースが多く、再生可能エネルギーの導入が進んでいることが一つの要因かと思います。また、家庭や事業者への省エネルギー性能が高い家電などの導入や普及が進んだことも要因の一つと思っています。

○松本会長

こういった数値には、電気自動車の普及なども数値として反映される認識で良いでしょうか。

○余村環境エネルギー部部長

そうですね。補足しますと、資料の 22 ページ下のグラフをご覧ください。松江市の温室効果ガス排出の特徴としては、全国と比べ産業部門からの排出が少なく、業務その他部門からの排出が多くなっています。全国の産業部門からの排出比率は 42.9%に対して松江市は 14.9%。一方で、全国の業務その他部門からの排出比率は 18.3%に対して松江市は 32.4%となっています。この業務その他部門には、一般の事業所や病院、役所などが含まれています。他、家庭部門や運輸部門からの排出比率も全国より高くなっており、松江市は、産業部門以外の事業所や家庭、運輸部門からの排出量が多いためこれらを削減することで、全体としての排出量も下がりやすい構造となっています。

22 ページ上のグラフをご覧ください。排出量を産業部門ごとに色分けしています。全体として排出量は減っていますが、黄色の業務その他部門からの排出量が一番減っていることがわかります。先ほどコロナについてのお話もありましたが、令和 2 年頃から感染が拡大したものと記憶しています。令和元年度と 2 年度の家庭部門を比較すると、排出量は増えており、これは在宅時間の増加によるものと推測できます。一方で、緑色の運輸部門の令和元年度と 2 年度を比較すると、他の年度よりも減少しています。これは、EV の普及などもありますが、コロナにより輸送が減ったことに伴っての減少が大きな要因とみています。以上でございます。

○松本会長

ありがとうございます。家庭部門については下げとまっているようにも見えますので、ここで協議した意見を加味した政策がとれればと思います。この 22 ページのグラフはとても重要ですね。

他、ご意見等いかがでしょうか。

○桑原委員

宍道湖も最近すごく水温が高いです。また、渇水の影響で塩分濃度に変化が生じています。2030年度に向けた生物多様性や自然環境の保全に関する内容でいうと、30by30などについて松江市としてどうしていくのかなども考えていければと思います。

○松本会長

ありがとうございます。30by30は、最初にお話した3つの方針のうちの自然共生プロジェクトに含まれると思います。宍道湖の水温など気になる話も多いのでこの場で議論できればと思います。

○矢田委員

今後、3回の審議会が予定されていますね。2回目は現状把握の結果、3回目は目標数値や計画素案、4回目はパブリックコメントを踏まえた最終確認といったところでしょうか。なかなか、内容も多岐にわたり会議に出てすぐに意見を言うというのは難しいのかなと思っています。また、環境分野なのでペーパーレスと聞くとそうだろうと思いますが、できれば事前に資料を紙でいただきたいと思いました。

また、委員の任期が再来年の1月末となっていますよね。この計画の策定は来年の3月に終わると思いますが、その後の任期中は何か私たちの役割があるのでしょうか。

○松本会長

ありがとうございます。事務局からよろしいですか。

○古藤環境エネルギー部次長

先に資料の件ですが、今回は事前に委員の皆さまのメールアドレスをお聞きできておりませんので、事前に送付できず申し訳ございませんでした。今後ですが、会議の前にメールで会議資料を事前にお送りさせていただきます。ただ、メールでなく紙が良いという方については紙での対応とさせていただきます。この後、会議後になりますが皆さまのご意向を確認させていただければと思います。

続いて、任期についてですが、委員の任期は令和7年の2月から令和9年の1月末までの2年間とさせていただきます。今回の環境基本計画(仮称)については、令和8年の3月までの審議を予定しておりますが、委員の任期期間内に、他にご審議いただきたい案件がある場合は、別途ご審議頂きたいと思っております。

○松本会長

ありがとうございます。最後、副会長からいかがでしょう。

○佐藤副会長

少しだけ「まつえ環境市民会議」についてお話しさせてください。私どもの会員は、市民や事業者、環境関係の団体の方で構成されており、それぞれの視点や分野からの取組を今後も続けていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

○松本会長

ありがとうございました。「まつえ環境市民会議」は、行政も含めて様々な方が参加する取組を行っていますので本当に重要になってきます。

今回時間の都合上、ご発言いただけなかった方は次回是非ご発言いただきたいと思っております。資料などの準備もよろしくお願いします。

本日の議事は以上となりますので、進行を事務局にお返しします。

(6) 閉会

○成瀬総括主幹

ありがとうございました。次回審議会の開催につきましては、9月下旬を予定しております。後日改めて、ご都合をお伺いしますので、スケジュール調整をお願いいたします。

それでは、以上を持ちまして令和7年度第1回松江市生活環境保全審議会を閉会いたします。本日は出席いただきありがとうございました。お気をつけてお帰り下さい。